

## 式 辞

本日は、オスカル・モツワハエ駐日ボツワナ大使閣下、レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル大使閣下、文部科学省文部科学審議官清水 潔様、秋田県副知事 中野 節<sup>(たか)</sup>様はじめ、多くのご来賓、関係各位の皆様にご出席いただき、国際資源学教育研究センター設置記念式典を執り行うことができましたことは、本学にとりまして誠に慶ばしいことであり、これまでの皆様方の多大なるご支援、ご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、本センターの設置は、ボツワナ共和国から鉱山学系大学新設のため資源系技術者を育成してほしいとの要請を受けたことが発端であります。その後も、同国の駐日大使との協議や、ボツワナへの教員派遣など実績を重ねた結果、日本の資源セキュリティ・安定供給体制の確立に貢献し、国際的視野を持つ資源開発人材育成を行うための教育研究の必要性を強く感じ、その拠点として昨年十月「国際資源学教育研究センター」を設置するに至りました。

設置趣旨がいくつかありますが、具体的には、教員が資源保有国に長期間滞在して、資源系大学・研究所等の設立や技術協力・人材育成の要請に応じるとともに、主に資源保有国や我が国の資源関連企業から研修生や研究生を受け入れ、「高度国際資源開発人材育成プログラム」により、集中的に教育する実践重視型の資源教育が特徴であります。

本センターの設置に際しましては、文部科学省の御支援により、平成二十二年度概算要求で三名の教員人件費が認められ、教員総数六名から成る陣容を整えることができました。関係各位に深く感謝申し上げますとともに、このことは本学が鉱山・資源開発人材育成の中心的役割を担うことを求められている証でもあり、期待に報いるためにも、日本の国際貢献と国際交流への貢献に努めるものであります。

せっかくの機会ですので、秋田大学の鉱山・資源の歴史と現状について少し触れさせていただきます。

秋田大学は、教育文化学部、医学部、工学資源学部の3学部から成り、地域はもとより、社会の発展に多大な貢献をしながら着実に伝統を築き上げて参りました。

その中でも、特に、本学の特徴とする「鉱山・資源」の歴史につきましては、ちょうど百年前の明治四十三年の秋田鉱山専門学校誕生に遡ります。

当時は、近代日本の鉱業界にとって最初の黄金期でもあり、まさに、鉱山冶金技術者養成機関の拡張が国家的な要請の時代でした。ちょうど同時期、秋田県が鉱山県であったことから、明治の鉱山業の藤田伝三郎、岩崎久弥、古河虎之助の三大財閥及び下岡忠治秋田県知事は学校設立に投資することを決め、文

部省の認可を得て採鉱学科，冶金学科から成る官立の秋田鉱山専門学校が設立された経緯があります。爾来，日本の鉱山の歴史とともに歩みながら，昭和二十四年の新制秋田大学鉱山学部の設置，平成十年の工学資源学部への改組再編を経て，鉱山・資源の発展に貢献しながらその技術力を営々と継承してきたところであります。

平成六年，秋田県内からすべての鉱山の灯が消え，それまでの鉱山・資源技術は不要であるとまで言われた時期もありましたが，平成十三年に家電リサイクル法が制定されるとともに，その技術力が見事に蘇り，都市鉱山（アーバンマイン）として復権いたしました。

今では，「資源人材育成」の中核的大学として認知された本学において，工学資源学部は「資源」と「工学」両分野の教育研究を担っており，国内外からは，「資源」を組織的かつ本格的に教育研究できる全国唯一の複合学部であるとの評価を得ております。

本学では，この揺るぎない基盤の下に，「あきたアーバンマイン技術者養成プログラム」並びに「資源開発分野の人材育成プログラム」による新たな資源再生教育，DOWAホールディングス株式会社による寄附講座リサイクルプロセッシング講座の開設，「ボツワナ国際科学技術大学」新設に向けての技術提供，人材育成等の支援を行っております。また，モンゴルとの資源交流を視野に入れたモンゴル科学技術大学との交流協定も締結しております。さらに，昨年，本学・秋田県・秋田商工会議所連合会の三者で共同申請しましたJST「地域産学官共同研究拠点整備事業」が採択され，「資源・環境・リサイクル」分野の総合研究拠点センターを設置することになりました。他県に較べて弱いとされる産学官の連携を推し進めることにより，地球を対象とした新しい資源学の創出に寄与していく所存であります。

最後に，国際資源学教育研究センター設置にご尽力いただきました皆様に改めて感謝の意を表するとともに，本日ご臨席賜りました皆様や関係各位には，これからもご指導，ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げ，秋田大学国際資源学教育研究センター設置記念式典の式辞といたします。

本日はまことにありがとうございます。

平成二十二年六月五日

国立大学法人秋田大学長  
吉 村 昇